

法人名	横浜市
施設名	横浜市港北保育園

発表者名 (職名)	川田 愛子 (保育士)	住所	横浜市港北区仲手原2-20-19		
		TEL	045-421-8575	FAX	045-421-8582
		メールアドレス			
		URL			
		定員	98名	職員数	29名

発表の概要・内容

- 1) はじめに
支援を必要とする子（A君）が集団のなかでどのように活動に取り組み、どのような育ちが見られたのか、報告します。
- 2) 内容
『プラカップ』を用いて活動する様子を6月、12月の2回取り上げます。
活動を通して支援を必要とする子（A君）を中心とした周囲の子どもとの関わり、保育者の配慮などをまとめます。
 - ①6月『初めてのプラカップ』
どのように遊ぼうか自分たちで考えるところから開始！
人が入る家を作ったのですがA君が壊し…
遊びが広がっていく様子を伝えます。
 - ②12月『ホールでのプラカップ』
「小学校の友だちにプラカップで遊ぶところを見せたい！」
というA君の意見により、ホールでプラカップを使って遊び
その様子をIPad（小学校交流用）で撮影します。
A君の発言をきっかけにどのように活動が発展していくのかが
ポイントです。
- 3) 実践から学んだこと
プラカップを使った遊びを通して、A君を中心とした他児とのやりとりが多く見られ
そのなかで、お互いが育ちあう姿がありました。
A君をはじめ、クラスの一人一人が『ありのままの自分』を認められ、自己発揮できるよう
なることで、他者を認めることに繋がると改めて学ぶことができました。

メモ